

(ICT を活用した主体的相互評価の研究) に関する研究のお知らせ

帝京大学八王子キャンパスでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間: (2022 年 7 月 19 日) ~ 2023 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

ICT を活用した学生の主体的相互評価の研究

〔研究目的〕

授業内評価を学生相互でおこなうことで、授業への積極的な姿勢の変化や勉学の動機付けになることもわかっていることから、2021 年度秋期開講授業である「応用演習 I」「スポーツ方法実習(レクリエーション)」内でおこなった「模擬授業」および「レクリエーションの発表」の結果を活用して、学生相互で評価を行うことが学習効果にどのような影響をあたえるかを検討することです。

〔研究意義〕

学生が主体的な相互評価をおこなう課程で、前向きな学修意欲の変化を期待する事ができます。つまり、評価する際には、学生自身が指導者と同じレベルで他の学生の演技を評価することになり、正しい技術・評価基準を理解していることが求められます。結果、事前の技術・評価基準を学習し授業内容を理解することにつながると考えられます。

〔対象・研究方法〕

対象は、授業内での調査であることから、研究の趣旨に賛同した履修者全員(教職専門授業 11 名、レクリエーション演習授業 128 名)を予定していましたが、授業の途中放棄者やアンケートの未提出者もいたため、本研究の被験者数は、教職専門授業 10 名、レクリエーション演習授業 120 名としました。教職系の演習授業では「教育実習対策としての模擬授業」(以下、模擬授業)を、資格系の演習授業では「レクリエーション発表」(以下、レク発表)をおこない、すべて動画撮影をした上で、学生に相互評価をおこないました。結果は、自己評価および相互評価を比較し統計処理を実施します。自由記述は、計量的に主観を排除した分析を行うため、テキスト型(文章型)データ解析ソフト KH Coder を使用し、テキストマニングにより分析します。

〔研究機関名〕

帝京大学 医療技術学部 スポーツ医療学科

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報はすべて個人が特定されないように加工し統計処理を行います。また、発表データは集計された値を利用しますので、個人を特定されることはありません。

研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。
ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:氏名 大橋 信行

職名 准教授

研究分担者:氏名 佐野村学

職名 准教授

所属: 医療技術学部 スポーツ医療学科

住所: TEL:042-678-3354 [内線 3354] n-ohashi@main.teikyo-u.ac.jp